

令和6年度 岩手中・高校 自己評価による学校評価(報告)

1 教育目標などについて ○ 80%以上 △ 70~50% × 40%以下

① 「全生徒がそれぞれの希望進路を実現する学校」というビジョンに向かって、様々な面でご自身なりに取り組んでいますか。

回答者数39人 ○ 32 △ 7 × 0

② 「自ら学ぼうとする意欲の育成」に様々な面で、ご自身なりに取り組んでいますか。

回答者数39人 ○ 29 △ 10 × 0

③ 「基本的な生活習慣の確立」に様々な面で、ご自身なりに取り組んでいますか。

④ 「礼儀正しく端正な外見」に様々な面で、ご自身なりに取り

回答者数39人 ○ 32 △ 7 × 0

⑤ 「思いやりと感謝の気持ちの育成」に様々な面で、ご自身なりに取り組んでいますか。

回答者数39人 ○ 30 △ 9 × 0

「ビジョン(理想像)」、[具体的目標]については、全教職員概ね同じ方向を向いて意識していただいているという結果。ただし、このビジョンに向かうための具体策を含め、継続目標とし、今後も精進していかなければならない。

2 校務分掌などについて

① ご自身の「校務分掌業務」をしっかりと従事できましたか

回答者数40人 ○できた32 △ どちらともいえない8 × できなかった0

② ご自身の「校務分掌業務」は過多だと思いますか。

回答者数40人 ○思う6 △適度27 ×思わない7

「○ 思う」と回答された方は、その業務内容とご自身が考える改善策があれば教えてください。

ICT関連業務の集中。年度始と終わりに業務集中。⇒担当変更 100周年記念事業準備に対する不安。 気遣いが解決策。
業務役割分担・検証等にストレス。 振休・時間外手当の不公平さにストレス。 校務飲み会を縮小。
仕事とプライベートの両立に苦慮。 授業準備や教材研究の時間を確保したい。

仕事の偏りというのは、なかなか解決しない課題です。公平な仕事量という基準はどこにあるのか、さらに個人差も否めません。しかし、「働き方改革」の折、そうもいってられません。現状打破を目指し試行錯誤するしかありません。

3 授業・学級担任、副担任・部活動など、ご自身の業務について(教員のみ回答)

① 生徒のやる気をひきだす授業の工夫をしましたか。

回答者数33人 ○工夫をした20 △工夫をしようとした13 ×工夫しようとしなかった0

② 学級担任、副担任業務を全うしましたか。

回答者数31人 ○全うした22 △普通9 × 全くできなかった0

③ 時短で効率の良い部活動の工夫をしましたか。

回答者数28人 ○工夫をした18 △工夫をしようとした8 ×工夫しようとしなかった5

授業の工夫は教員として大切な業務である。正解はありませんが、生徒を引きつけられるよう日々精進しなければなりません。

4 その他 ご自身の職務全般について

① 生徒への声がけを意識しましたか。

回答者数40人 ○意識した33 △しようとした6 ×しようとしなかった1

② ご自身の職務全般業務を全うしましたか。

回答者数40人 ○全うした28 △普通11 ×全くできなかった1

③ 掃除時間を含め、学校の美化に努めましたか。

回答者数40人 ○努めた26 △努めようとした14 ×努めようとしなかった0

④ 省エネ、ペーパーレス等に努めましたか。

回答者数40人 ○努めた21 △努めようとした18 ×努めようとしなかった1

⑤ 有事・困難時に「報連相」を意識し、ひとりで抱え込まずにある程度の組織として対応しようとしたか。

回答者数40人 ○対応した26 △対応しようとした12 ×ひとりで抱え込んだ2

学校の美化に関しては、教職員としての責務であり、全教職員が「○」とならなければなりません。また、組織としての対応とならずに、一人で抱え込んでしまうという点に関しては校長はじめ管理職等の責任が大きいのも否めません。風通しの良い職場を目指し、組織(チーム)として、ひとりで抱え込む教職員がいなくなるよう、互いに協力し、気遣いの心を持って努めていかなければなりません。